

1 組 推薦作文

■ 1年1組 中園 唯花

小山先生から、「今宮で学ぶ」というテーマで、お話を聞いて、私の予想だと、多分、自分を大きくするために、よく知識を植えつけ、何かする時に遠慮をせず、良くなりたいと強く思い、いつか、自分を支えてくれた人たちに対し、10もらったら、10返すという形で、お返しする。後、例えば今宮で、理数と文理を取る時、片方だけでなく、両方ともきちん取ると、どちらか1つが輝く時がある。だから、前向きに取り組んでほしいという事を小山先生は伝えなかったのではないかと思います。

良い話だなと思って、聞いていたのですが、いくつか、私の考えとは違うなと思う点がありました。1つは、「職業選択の自由」が、人の最大の自由だと、小山先生はおっしゃっていました。けど、私は「発言の自由」が最大の自由なのではないだろうかと思いました。「発言の自由」があるからこそ、人はいろいろな能力を発揮でき、職業選択ができる。職業選択の自由は発言、思想の自由に含まれるのではないかと思います。

2つ目は、自分を支えてくれた人に対し、10もらったら10返すのではなく、それ以上返すと、未来がもっとよりよい未来になり、明るい世界になるのではないかと思います。

小山先生の話聞いて、とてもよい話だ。私もがんばろうとそう心から思いました。それに、小山先生と、私の意見が違う点もいくつかあり、とても楽しく聞けました。また、色々な話、体験談など聞けたらなと思いました。

- ・ 反論を加えることによって意思表示をはっきりしている。
- ・ 内容も納得できる内容である。
- ・ 他の文章よりもしっかりと話の内容を理解していて、共感しやすいものだから。
- ・ 短く簡単にまとまっていて、読んでもるほうに伝わりやすい。
- ・ 今の自分たちの姿と重なってとても読みやすい。
- ・ 読んでも眠くならない。

## 2組 推薦作文

### ■ 1年2組

「自分の価値観だけにとらわれるな。もっと大きな目で物事を見なければならぬんだ。」

これが、私が小山先生の話聞いて、先生が伝えたかったことだと思った。これを理解、実現するにあたって今宮は本当にいい学校だと思う。この学校は、個性を尊重するイコール個性が強い学校である。つまり、自分と重ならない生徒が多くいるということでもある。ということは、自分の価値観だけでなく、自分とは異なった様々な価値観が存在している。

私は、自分の視野を広げるのに本はとて役に立つと思う。でも、本だけじゃダメになる。人と話すこと、特に自分とは違う価値観の人と話すことが自分の視野を広げるのに最も良い。なぜなら、本は自分の意見に返事してくれないから。視野が広がっても、その広がった視野は、度の合わない眼鏡でのぞいているようなものだと思う。

「今宮の学び」には、人と討論する機会が多く与えられている。それを生かして自分の視野を広げることが真の「学び」なんだと思う。

勉強だけじゃなくて、こういう人との討論が本当の意味で自分を成長させてくれるのではないだろうか。

私にとって、「学び」とは、勉強のことではない。人の価値観を知り、自分の価値観を広げ、深めることが「学び」であり、素直な心で自分を大きくさせることを第一として今宮でたくさんのことを学びたい。それが今宮高校生として私が最初に出す答えだ。

- ・自分の主張や表現が分かりやすい
- ・共感を得やすい文章だった
- ・本という身近な物で例えている
- ・課題についてしっかりと考えられている
- ・文章全体がまとまっている

### 3組 推薦作文

#### ■ 1年3組 K, U.

小山先生は、きっと、私達に『常に全力で挑め』ということが伝えたかったのだと思います。そして、常に、遠慮せず全力を出すことで、自分たちは大きくなるんだということが伝えたかったんだと思います。

「学び」というのは「成長」ということだと思います。成長すると色々な分野について視野が広がり、今まで見えなかったもの、つまり分からなかったことが分かるようになるということです。

一つ具体例を出すとすると、今、問題になっている福島第一原発についてです。ニュース番組で、「メルトダウン」「半減期」「セシウム、プルトニウム、ヨウ素」「ベクレル」などの用語が飛び交っています。この用語の意味がわからない人は少なくないと思います。しかし、それを学び、成長し、理解することによって、原発問題をより身近に感じることが出来ます。それが、今まで見えなかったものが見えてくるということです。

今まで見えなかったものが見えると、新たに見えないものが増えます。新たに見えないものが増えると書きましたが、厳密に言うと、『増えた』のではなく、『見えないものが姿をあらわした』だけなのです。目の前の見えないものが見えるようになると、新たに見えないものが姿をあらわす。キリがありません。しかし、それが『学び』というものの本質であると思います。

- ・ 具体例が最近話題の原発のこと（「メルトダウン」「ベクレル」など）を上げていて良かった。
- ・ 考えが深い。
- ・ 「 」を使い、強調していた。
- ・ 「見えないものが姿をあらわした」という表現がよかった。
- ・ 全体がまとまっている。

## 4組 推薦作文

### ■ 1年4組 赤堀 好（あかほり このみ）

たくさんの知識をつけて社会に出たときに困らないよう、恥をかかぬようにしておく。頭をきたえていなければ、不十分な判断をしてしまい下手な表現しかできない。これらのことは日常生活でも感じることもある。言葉の意味や言葉自体を知らないと恥ずかしい思いををすると思うし、会話についていけないだろう。

自由とは自律の中であって難しいものなのかもしれない。自分自身がしっかりと自分の意見を持ち主張することによって、周りからの極端な強制をうけることは少なくなるらしいが、私たちは「自分自身」を持つことができるのだろうか。

自分を持つことは難しく、相手の意見を批判し、傷つけてしまうかもしれない。また、周りに流されて自分を持つことが無理なときがある。常に心がけていたとしても、いざとなるとできないだろう。

私たちは10の力を持っていたとして、その力を全て自分で得てきたものなのかという話もしていた。それは確かに違うと思う。当たり前のように使っているこの言葉だって、生まれたときから話せたわけではない。両親や兄弟の影響を受け、マネするように覚えただろう。けれども、誰も話していなかったら、私は話すことはできなかったと思う。高校だって、入試のための学力は、両親が通わせてくれた塾や塾の先生のおかげだと思う。

私たちが、もし10の力をもっているのだとすれば、2ぐらいだろう。それぐらい私たちは周りに助けられて生きている。そして、影響を受け、与えていると思う。次世代にも与えなければならない。

夢を2つ持っていたら、1つ捨てる人間はもう1つの夢をかなえることはできないと言っていた。でも私は、しかたなく諦めなければならないときはどうすればよいのだろうと思った。誰も好んで夢を諦める人はいないと思うから。しかし小山先生は、2つをかなえられる努力をしなさいと言いたかったのではないかと思った。努力もしないで夢を諦めてはいけない。かなえたいなら、がんばるしかない。がんばれば周りは応援してくれるだろう。

私は、今宮で学力の勉強もするが、学力以外の方が大切だと思うし学んでいくと思う。

- ・考え方が大人っぽいと思う。
- ・小山先生の意見もしっかり理解している。
- ・でも小山先生の意見をまるまる写したような作文ではなく、自分の意見を日常のわかりやすいことと重ねていて、わかりやすいと思った。
- ・前向きだし字もキレイで読みやすかったから。

## 5組 推薦作文

### ■ 1年5組 星野 智子

「人は自分の大きさでしかものを見ることができない。」という言葉聞いて、私もそうだなと思いました。百人いれば百人それぞれの考え方があって、その中には自分と違う考え方の人もたくさんいるのだらうと思います。その人たちに会って、一つ一つ自分と違う考え方を理解し、体験していくことで、今以上に自分が大きくなるのではないかと思った。そして、たくさんの人の考え方を理解するには、知識も必要だと思った。日々、知識を増やし、いろいろなことに関心を持ち、さまざまなものの見方をして頭を鍛えることが大切だと思う。

「10もらったら、11, 12にして返せるように。」という言葉は、私の大好きな漫画でも出てきた言葉で、とても関心が持てたし、いい考えだなと思いました。そんな風にみんなが考えれば、もっともっと楽しい笑顔あふれる世界になると思う。また、「学び」について、私はそれほど勉強が好きではなかった。けれど、この今高に来て、変わったと思う。今宮高校に来るために毎日必死に勉強して、合格できてほんとに嬉しかったし、これからも勉強をしていくなかで「学ぶ喜び」に出会えるだらうし、自分の知識も広がり、よりたくさんの考え方、ものの見方ができる大きな人間になれると思う。二年生からは選択授業が増えると、人によって、どれを学ぶか、どれを学びたいかは違ってくると思う。そんな中で、一つ一つ真剣に自分の将来のことなど考えて、誰か友達が取るとか一緒に取るとかではなく、自分でちゃんと選択できるようになりたい。自分で真剣に選択したものなら、「授業もいやいや仕方なく受ける」から、「自分が選んだものだからしっかり授業を受けよう」という姿勢に変わると思う。そこからまた自分の将来について考えていければいいなと思った。

自主規制、自律、自由、学びものの見方について、まだまだ考えていけないといけないところもあるし、小山先生の話の中で分からなかった、言葉も、これからの体験の中で「先生がおっしゃっていたことはそういうことだったんだな。」と思えばいいなと思いました。

- ・考えがしっかりしている。
- ・深い
- ・字がきれいで読みやすく構成が分かりやすくなっていた。
- ・自分の意見もあった。
- ・自分のことに関連していて分かりやすいから。
- ・例えが分かりやすい。
- ・主観だけではなく客観的にも見れている。
- ・世界規模な話をしている。

## 6組 推薦作文

### ■ 1年6組 宮武 千波

私が小山先生の話で印象に残っているのは「人間はより良く生きたいと思うもの」ということです。小山先生は「戦後に体育館を走り回る男の子に大村はま先生という人が新聞記事を渡すと一生懸命読んでいた」という話を例として挙げていたけど、私もそんな経験があったと思います。中学生の頃、苦手なマット運動をするのが嫌で、どうしてもできない技がありました。友達とかと一緒に頑張って「もういいよな〜」とか言ったりしていました。でも、私はできるようになりたくて家で練習を一生懸命しました。そして次の授業で友達が「私、家で練習してきた〜」という話をしていました。今思うと、みんな口ではあきらめたような事を言っていたけどやっぱりみんな上達したいと思っていたんだなあと感じました。でも、良くなりたいたとは思っていながら一生懸命することを恥ずかしく思い努力をしないのはだめだと思います。だから、今宮では、努力することを恥ずかしいと思ったり、努力している人を笑うようなことをなくして、自分の心にうそをつかず、まっすぐ進んで行きたいと思います。それがいろんなことを学ぶ上で一番大切になると思います。

さらに「10の力があれば全てを出し切る必要がある」ということについて、私は初め「もしものために少し残しといたほうが良いのじゃないかな〜」と思っていました。でも、10の力は社会や周りからもらった力なので、それを社会とか周りの人に恩返しをするつもりで返していかないといけないとわかりました。やっぱり、全てを出し切るのは大変だ、少し自分に甘えて全てのことに一生懸命努力できていません。なので10の力を20とかに増やしていけばよゆうもできるし、全てを出し切らなくても恩返しできると思います。もしみんなが5とかの力しか出さなかったら、なまけた学校になると思います。だから10の力を増やすために知識を増やす必要があると思います。知識が増えれば、その分何かの役に立ったり、理解できることとかも増えるのではないのでしょうか。

・先生の話をよく聞いていて、よくまとめられている文章だと思ったからこの作文を選びました。先生の話に加え、自分の体験を入れながら照らし合っているところが良いと思いました。さらに共感できる部分もあり、表現もわかりやすかったです。